

令和 4 年

高松市教育委員会 3 月定例会

会 議 録 (抄本)

3月29日 (火) 開会

3月29日 (火) 閉会

出席した教育長及び委員			
教 育 長	藤 本 泰 雄		
委 員	吉 澤 潔		
	葛 西 優 子		
	関 元 盛 夫		
	小 方 朋 子		
	富 家 佐 也 加		
欠席した教育長及び委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育局長	森 田 素 子		
教育局次長 総務課長事務取扱	中 谷 厚 之		
教育局次長 生涯学習課長事務取扱	合 田 紀 子		
学校教育課長	山 地 芳 樹		
保健体育課長	高 木 成 明		
保健体育課主幹	宮 内 賢 治		
保健体育課長補佐	山 下 裕 文		
生涯学習センター副館長	正 垣 仁 美		
中央図書館長	石 野 知 津		
中央図書館主幹	和 田 誠 輝		
総務課長補佐	香 川 昭 子		
総務課総務係長	別 所 里 美		
会議録署名委員	吉 澤 潔		
事務局担当書記	新 田 周 子		

【特記事項】 傍聴人5名

議 事 日 程（3 月 定 例 会）

- 日程第 1 議案第 15 号 高松市美術品等収集審査会委員の委嘱に係る教育委員会の意見について
- 日程第 2 議案第 16 号 高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について
- 日程第 3 議案第 17 号 生涯学習の今後の推進方針について
- 日程第 4 報告事項
- 1 令和 4 年第 1 回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について
 - 2 令和 4 年第 1 回高松市議会定例会答弁要旨について
 - 3 「令和 4 年度教育指針―確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかってたくましく生きる人づくり―」及び「令和 4 年度教育指針（概要版）」について
 - 4 高松市高等学校等入学準備金貸付者及び高松市奨学生の選考結果について
 - 5 高松市電子図書館の運用開始について
 - 6 令和 3 年度高松市図書館評価について

【令和4年3月29日（火） 議 事 内 容】

午前10時 開会

教育長が、会議録の署名委員に吉澤委員を指名。

日程第1 議案第15号

議案第15号 「高松市美術品等収集審査会委員の委嘱に係る教育委員会の意見について」

総務課長から、高松市美術品等収集審査会委員の委嘱に係る教育委員会の意見について説明。

<質疑>

- 教 育 長 新任の吉川先生は、幼児教育以外も御専門なのですね。
- 委 員 美術教育を専門とされている幼児教育の先生です。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第16号

議案第16号 「高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について」

保健体育課長から、高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について説明。

<質疑>

- 教 育 長 香東中学校と円座小学校の献立について説明をお願いいたします。

- 保健体育課長 はい。給食の献立はブロックごとに統一しているのですが、鶴尾小学校と香東中学校はもともとブロックが異なっていました。今回の改正に伴い、ブロックを統一して献立を一致させるようにということで、ブロックの改定も併せて行っております。

- 教 育 長 学校によっては行事の都合等で給食の時間を少し早めたりすることがあると思いますが、学年によって調理場が異なってもうまく対応できるのでしょうか。

- 保健体育課長 はい。最終的には学校間で、栄養教諭と給食担当の先生が常に連携を取り合って、給食時間の調整を円滑にできるようにしております。

- 教 育 長 円座学校給食共同調理場の件について、いかがでしょうか。

- 委 員 このところ中学校の生徒数が大変増えておりまして、小学校の調理場ではかなり厳しい状態が続いておりましたので、一学年だけでも鶴尾の調理場にお願いできてよかったのではないかと思います。調理場は老朽化もしているのです、今後、そのあたりのことも考えていただけたらと思います。

- 教 育 長 300食分ほどが鶴尾の調理場に移るのですでしたか。

- 保健体育課長 はい。約300食分です。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 議案第17号

議案第17号 「生涯学習の今後の推進方針について」

生涯学習課長から、生涯学習の今後の推進方針について説明。

<質疑>

- 委員 資料にあります「今後の方針と重点項目」の中のウについて、どんどん進めていっていただきたいことばかりだと思っております。デジタル・デバイトの解消に関して、コンテンツはどんどんデジタル化されているので、ニーズも多様化しております。困難を抱えている方のニーズを拾い、世界を広げるためにも、幅広い人たちを対象にこのようなことを行っていただくことは大変良いことだと思います。資料のアの部分についてお伺いしたのですが、地域を活性化していかないといけないことや、リーダーを養成していかないといけないということは分かるのですが、それを実行していくための具体的な案を教えてくださいたいと思います。
- 生涯学習センター副館長 はい。生涯学習センターでは、生涯学習推進員を各コミュニティセンターに2名以上配置しております。その方々を対象に、ほぼ毎月、生涯学習

センターにおいて研修をさせていただいております。内容としては、最近、多く取り扱っているのは、I T関係を中心にしたものになります。来年度には各コミュニティセンターにタブレットが入る予定と伺っておりますので、それも使用できるように進めていけたらと考えております。

- 委員 現在、自治会の加入率が非常に下がっておりまして、40%を切り、30%台になっております。コミュニティセンターの様々な情報が、なかなか地域住民全体に行き渡りにくい状況になっておりまして、これをどのように解決するかということが大きな課題となっております。今、W i- F iやタブレットを整備して4月から使えるようにということになっているのですが、それをどのように広報するのかということで画策しているところです。最近便利なL I N E等を使用してコミュニティの様々な情報が誰にでも入ってくるような方法など、様々な方法を検討しているところです。また、資料イにあります「子どもを育てていくための家庭・地域の教育力の向上」ということですが、自治会に加入していない世帯が多いので、子どものための講座等を開いても、対象としている方々になかなか行き渡らないのが現状です。そのため、I C Tを活用してどんどんそういう活動が広がっていけばよいと思います。また、不登校の問題についても、夜間に学習するスペースなど、そういったものが充実すれば、学校に行きづらいと感じる子どもたちでもそのような場所で学ぶことができるかもしれないので、活用の機会が増えていくのではないかと思います。

- 生涯学習センター副館長 生涯学習推進員を対象とした研修の中でも、各地域によって差があるという話は出ております。特にI C T関係では地域間で差がありまして、それを少しでもなくそうということで、例えばフェイスブックの作り方や情報発信の仕方等の研修もさせていただいたところです。来年度からI C T関係も進むという情報もありましたことから、そのようなことも進めております。研修後は地域の方でも是非取り組んでいただきたいと思っております。来年度からはコミュニティ協議会でもそれに関する研修を行うということを伺っておりますので、併せて地域からも要請がありましたらコミュニティ講座として地域で開催することも可能だと思います。生涯学習推進員を中心とした情報発信をする方々が、知識を改新する場として取り組ん

でいただけたらと思っております。

- 委 員 推進員は2名いるのですか。
- 生涯学習センター副館長 少なくとも2名はいます。それ以上は地域からの推薦となっているので、3名以上のところもありますし、2名のところもあります。
- 委 員 もし可能なら、その方たちに学校運営協議会にも参加してもらいたいと思います。そこから自治体の加入率等にも関係してくると思います。
- 教 育 長 先ほどの自治体加入率が低く、情報が行き渡らないという問題にも関係していて、学校を通じて行き渡らせていくということですね。それぞれが行っている各取り組みをリンクさせていくことが重要ですね。
- 委 員 地域のコーディネーターのような人がいればいいのですが、なかなか育っていないですね。
- 委 員 高松市高齢者居場所づくり事業や少子化対策の事業などを行っていると思いますが、いわゆる厚生面といいますか健康増進、保険、医療などについては随分前からコミュニティで取り組んでいると思います。今後、県全体として厚労省の「通いの場」事業と同じように、県が全市町村に向けて高松市の居場所づくりと同じような活動をしようというプロジェクトを始めておまして、その中で教える人材の育成などの事業を行っております。健康面での、例えば体操などについてはお年寄りが集まりやすいのですが、併せて教育や文化的な面も育成していく、つまり厚生面だけではなく他のいろいろな面も含めてトータルで育成していくのがよいと思います。

そのような居場所では、医療経済学や終活、遺産問題や相続問題を扱うと、受講者が満員になります。生涯学習については誰を対象にするのかということにはなろうと思いますが、現在働いている世代の人は講座を受けに行くことがなかなか難しいので、受講者はお年寄りばかりになってしまいます。このことを、どのようにして生涯学習

に結び付けていくのか、様々な分野を集合して、幅広く生涯学習ができるようになるのか、また、他分野とどのように協働していくのか、ということになります。コーディネーターの養成とありますが、高松市の在宅医療コーディネーターについては高松市医師会が中心になって養成を行っておりまして、既に各医療機関に300名ほどおります。その方たちは、医療、介護のコーディネーターなのですが、しっかりと人生会議のことなどを教えている状態ですので、県の事業においても活用しようとしています。このような人たちに、もっと他の面も担っていただけるように人材を見つけたい。また、他分野でも同様に養成をしてもらいたいと感じます。

認知症の介護の分野でも、生活支援サポーターがおりますので、そういう方たちのコーディネーションを少し広げて、人材として活動してもらいたいのではないのでしょうか。他分野との協働が大事だと思います。

- 教 育 長 医療コーディネーターの方々は、どのような御職業の方なのでしょうか。
- 委 員 放射線技師など、それぞれ本職の中で在宅医療や介護にどれだけ貢献できるかということで、あえて本業を行いながらという形にしています。市長と高松市医師会の認証を受けるようになります。そういった方に今後どのように活躍してもらおうかというところです。
- 教 育 長 新聞の広告欄によく地域学校推進員養成講座というのが載っていますが、先ほどのお話にもありましたように、養成講座でそれだけの多くのコーディネーターが増えるのであれば、各分野のコーディネーター養成講座というのが必要なかもしれませんね。
- 委 員 先ほどの在宅医療コーディネーターというのは、国と市の財源で行っていますので、個人にかかる費用はありません。毎年2～3倍ほどの応募があります。
- 委 員 地域で社会福祉協議会や放課後こども教室というのをやっているのですが、社会福祉協議会では高齢者給食が廃止になりまして、共助の基盤づくりという、地域

のボランティアを育てましょうという活動が始まっています。その計画をしている中で、地域の色々な団体と協力をして取り組んでいこうと考えています。その中で、高松市がゼロカーボンシティに取り組んでいるので子どもと一緒にその話を聞いたり、文化祭の際にフードロスの取組として実際に食料を集めてみるというような取組を行ったりしています。放課後こども教室でも、先ほどのコミュニティの生涯学習推進員さんと相談をして、この講座は一部コミュニティでやります、この講座は子ども教室でやりますというように協力して、ボランティアの方を増やしていくということを考えています。縦ではなくて、横のつながりをたくさん作っていただき、情報をたくさんいただければ、それだけ活動の幅が広がると思います。どのようなコーディネーターさんがいるか分かれば、相談ができると思います。

- 教育長 各コミュニティにいる生涯学習推進員さんは、何か資格のようなものを持っているのでしょうか。
- 生涯学習センター副館長 資格は特になく、必ず配置している2名は、コミュニティセンター長と職員が推進員になっています。それ以外の方は推薦のあった方であり、資格は特に必要とはしていません。
- 教育長 その方たちにコーディネーターとしての役割の基本のようなものをお伝えして養成をしているのですか。
- 生涯学習センター副館長 はい。今年の初めにはインターネットの使い方やSNSの使い方等そういった部分を中心にお伝えしました。そこから次に発展していただけたらと思っています。
- 教育長 資料のア、イがポイントですね。オンライン講座の積極的な導入ということですが、現状としてはいかがでしょうか。
- 生涯学習センター副館長 はい。昨年度は2回開催いたしました。1回目の受講者は1

4名、2回目は30名弱参加していただいております。受講者は高齢者が多いので、オンラインの始め方なども含めて行っております。受講された方からは、継続してほしいとお声をいただきますことから、好評いただいているものと認識しております。

- 教育長 自主学習スペースのことについても報告をお願いいたします。

- 生涯学習センター副館長 はい。自主学習スペースについては試行ということで、7月から3か月間の予定という形でさせていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で閉館している期間がありましたことから、3月まで試行期間を延長いたしました。利用者に関しましては、基本的に若い方の御利用が多く、10代の方が36名、20代の方が15名、合わせて51名と全体の中で50%となっています。内容といたしましては主に試験勉強をされている方が多く、全体の80%となっております。リピーターの方も大変多く、毎日来られている方や週に3回来られているような方もいらっしゃいます。若い世代の利用者及び夜間の利用者が増えたということで、4月1日以降は本格的に実施していこうと考えております。併せて交流サロンとして、一般の方がフリーで利用できる場所があり、こちらにも机を増設して新たに照明をつけました。こちらは夜間だけではなく、昼間もずっと利用できるようになっております。

- 教育長 生涯学習センターの存在感を高めるためにも、高齢者の方だけではなく若い世代に足を踏み入れてもらうのはよいと思います。

- 委員 コミュニティセンターのセンター長などが推進員の方とは知りませんでした。どのようなお仕事をされているか、まだ具体的にイメージが持てないのですが、コーディネーターとしてのお仕事としてはどのようなことを期待されているのかを、もう少し教えていただけますか。

- 生涯学習センター副館長 まずはコミュニティに委託して、様々な講座を行ってもらっており、それがまずは中心です。その講座を通じて、皆さまに生涯学習について知っ

ていただくというような形で取り組んでいただいております。

- 委員 各コミュニティセンターによって行っている内容に違いがありますが、その部分は各コミュニティセンターに任せているのでしょうか。
- 生涯学習センター副館長 はい。
- 委員 必要とする情報にアクセスしたいときに、アクセスしやすい環境を全体として作っていかないといけないのではないかと感じました。
- 教育長 生涯学習についてもニーズが大変高まっているところではありますので、そういう意味で重点項目を挙げ、取り組んでいきたいということです。

教育長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第4 報告事項

報告事項1 「令和4年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について」

総務課長から、令和4年第1回高松市議会定例会追加提出議案に対する意見の申出について説明。

< 質疑 >

(発言する者なし)

報告事項 2 「令和 4 年第 1 回高松市議会定例会答弁要旨について」

教育局長から、令和 4 年第 1 回高松市議会定例会答弁要旨について説明。

< 質疑 >

- 教 育 長 今後の教育委員会の中でも議論になることがあると思いますので、また御覧
いただければと思います。
-

報告事項 3 『令和 4 年度教育指針—確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢にむかって
たくましく生きる人づくり—』及び『令和 4 年度教育指針（概要版）』について」

学校教育課長から、「令和 4 年度教育指針—確かな学力と豊かな心をはぐくみ 夢に
むかってたくましく生きる人づくり—」及び「令和 4 年度教育指針（概要版）」につい
て説明。

<質疑>

- 教 育 長 次年度も学校訪問等の際にこういう観点で学校を見ていただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。
-

報告事項4 「高松市高等学校等入学準備金貸付者及び高松市奨学生の選考結果について」

学校教育課長から、高松市高等学校等入学準備金貸付者及び高松市奨学生の選考結果について説明。

<質疑>

- 教 育 長 再募集ではたくさん応募があったのですね。
 - 学校教育課長 はい。昨年度初めて再募集を行ってみて、複数の応募をいただきました。
 - 教 育 長 それでは、今年度についても奨学生の方は再募集を行っていくということで、よろしくお願いいたします。
-

報告事項5 「高松市電子図書館の運用開始について」

中央図書館主幹から、高松市電子図書館の運用開始について説明。

<質疑>

- 教 育 長 メンテナンスで停止というのは、中央図書館でできることではないということですね。

- 中央図書館主幹 はい。業者のメンテナンスなので、全国で同じシステムを使っているところが一斉停止するものです。

- 中央図書館長 全国一斉のタイミングになってしまうので、中央図書館では運用が始まってから早い段階でシステムメンテナンスのため停止となりました。

- 教 育 長 9時から朝の8時の深夜帯ですね。

- 中央図書館長 はい。

- 教 育 長 是非また御利用いただければと思います。

報告事項6 「令和3年度高松市図書館評価について」

中央図書館主幹から、令和3年度高松市図書館評価について説明。

<質疑>

- 委員 資料 7 ページの外部評価に、「子どもたちについては、図書館に直接来て本に触れて親しむ習慣をつけてほしいので、電子図書館の導入に当たっては、子ども向けの電子書籍は少なめにしてほしい。」との記載がありますが、保育所、こども園、幼稚園、小学校ではものすごく本を充実させておられるので、実際に本に触れ合うことができます。学校訪問に行っても廊下等に本がたくさん並んでいて、すぐ手にとれるようにする等、非常に努力されていますので、図書館は電子図書を充実させていただきたいと思います。今、図書館の目標が若い世代にどれだけ本を借りてもらえるかということですので、電子図書館があればすぐにデータ分析できると思います。どの世代の人がどれだけ借りていて、どんな本が人気なのか分かりますので、是非電子図書館は充実させていただきたいと思います。

- 中央図書館主幹 はい。実際のところは、児童書も多く充実させております。

- 委員 外部評価の外部というのは、どなたなのでしょう。

- 中央図書館主幹 はい。こちらは図書館協議会という外部団体がございまして、有識者や公募で集まった方たち 12 名で構成しております。

- 教育長 外部ですが、図書館関係の方です。

- 委員 そうなのですね。評価が、新型コロナウイルス感染症対策のためやむを得ないというのは甘い気がします。達成できていないものはそれに応じた評価をした方がいいように思います。次の評価と整合性がとれなくなってしまうと思います。

- 教育長 最終的にはこうなっていますが、データとしては低いときのデータを残して、そこと比べていかなければいけませんね。

- 中央図書館長 はい。外部評価で上げましたという文言を載せるようにしておりますので、もともとの評価はCでしたが、外部評価でBにしたということが分かるようにして市民の方にも公表いたします。

午前11時50分 閉会

議決事項

「高松市美術品等収集審査会委員の委嘱に係る教育委員会の意見について」

「高松市学校給食共同調理場条例施行規則の一部改正について」

「生涯学習の今後の推進方針について」

持ち回り審議による議決事項

「令和4年4月高松市教育委員会事務局、高松第一高等学校、高松市立幼稚園及び県費負担教職員の人事異動について」

「令和4年度定期人事異動について」

「高松市教育委員会事務局規程の一部改正について」